

株式会社ミュージックバード

第 78 回番組審議会 議事録

1. 開催日時 2019年9月18日(水) 15時00分～16時30分

2. 開催場所 TOKYO FM 9階 役員応接室

3. 出席者

<番組審議会委員>

矢内 廣 委員長

福本 ゆみ 委員

中西 健夫 委員

近藤 良 委員 <新任>

堀 主知ロバート 委員 <新任>

<ミュージックバード>

代表取締役社長

雄谷 英一

取締役技師長

土屋 充央

取締役

吉田 乾朗

コンテンツ事業部

岩崎 育郎

コンテンツ事業部

関根 直子

コンテンツ事業部

篠崎 めぐみ

コンテンツ事業部

椎名 楓

4. 議事内容

(1) 放送活動のご報告

(2) 番組試聴

(3) 今後の施策について

5. 配布資料

(1) 第 78 回番組審議会資料

(2) 第 77 回番組審議会議事録

(3) Song List ハイライト記事(2019年3月～8月)

(1) 主な放送活動の報告

◇4月新番組

・121ch THE CLASSIC 「山野楽器クラシックベスト10」

放送日時:毎週日曜 15:00~18:00 (再放送:毎週土曜 8:00~11:00)

出演:峯岡隆・須田純一(山野楽器)

内容:毎週更新される銀座山野楽器のクラシック盤の売上チャートをもとに、いま最も熱いクラシックを話題盤や新譜で紹介。山野楽器の名物バイヤーがベスト10の売れ筋や聴きどころを解説します。

・121ch THE CLASSIC 「AMATI presents 人生を変えた音楽」

放送日時:毎週土曜 11:00~12:00(翌週リピート)

出演:福田進一(4月~6月 ギタリスト)、菊池洋子(7月~9月 ピアニスト)

内容:クラシックの第一線で活躍する音楽事務所 AMATI 所属のアーティストがリレー形式でパーソナリティを務める番組。彼らの人生の中でターニングポイントとなった楽曲を聞きながら、コンサートや CD では知ることのできない、音楽に向き合う姿にも迫ります。

・122ch THE JAZZ 「ヴォーカルから入るジャズ入門」

放送日時:毎週土曜 12:00~13:00(再放送:毎週日曜 19:00~20:00) 出演:後藤雅洋

内容:毎週個性豊かなジャズヴォーカリストにスポットを当て、聴きどころを東京・四ツ谷の老舗ジャズ喫茶「いーぐる」の店主後藤雅洋が解説。

・122ch THE JAZZ 「ジャズSPタイム」

放送日時:毎週日曜 20:00~21:00(翌週リピート) 出演:瀬谷徹

内容:19世紀末に生まれたジャズの最初の録音はSP。100年の歴史を数えるジャズ録音の草創期をSPレコードで紹介。出演は蒐集歴40年以上のSPレコード・コレクター、瀬谷徹。

◇その他の番組ピックアップ

・121ch THE CLASSIC 「CLASSIC LIVE SELECTION」

放送日時:毎週土曜 20:00~22:00(再放送:日曜 12:00~14:00)

◎毎月第3週:WORLD LIVE SELECTION

ヨーロッパ最大のクラシック・フェスティバルとして、オーストリアのザルツブルクで開催される『ザルツブルク音楽祭』。

4月から6月までの3ヶ月にわたって、2018年シーズンから話題の公演を一挙に放送!

◎毎月第1週:第2週 ストラディヴァリウス・コンサート

比類なき音色と称えられる楽器のマスターピースとして、歴代の名手たちに愛された「ストラディヴァリウス」。

日本音楽財団からこの名器を貸与された演奏家によるコンサートを紹介。

●**MB** 「WORLD LIVE SELECTION」では、いままでヨーロッパのライブ音源のみを放送していたが、それに加えて国内で行われているコンサートの音源と、既存の「トッパンホール・トライアングル」を合体させた番組「CLASSIC LIVE SELECTION」を7月からスタートさせた。週によってコンサートの種類は異なる。国内コンサートは、ストラディヴァリウスを貸与されている演奏家によるコンサートなどがある。

クオリティの高い国内オーケストラ(例:神奈川交響楽団、九州交響楽団等)も存在するが、なかなか放送では紹介されていない。今後彼らの定期演奏会とコラボして番組を作れないか、検討している。

●**委員** スポーツは野球だけじゃない。サッカーというチームプレイもあればテニスみたいな個人プレイもある。クラシック音楽もオーケストラと、室内楽がある。日本ではマイナーだが、ヨーロッパでは室内楽が盛ん。室内楽の番組も作っていただけるといいなと思う。

●**MB** 既存の「トッパンホール・トライアングル」は室内楽の番組です。その他にも検討させていただきます。

(2) 番組試聴

番組名:『すみません、お宅のオーディオ、ナマ録させてください。』

放送チャンネル:MUSIC BIRD 124ch 「THE AUDIO」

放送日:2019年8月25日(日)9:00~10:00 《再放送 9月1日(日)20:00~21:00》

出演:田中伊佐資(オーディオライター)

内容:マイクと機材を背負い「音の在る場所」へ！人気ライター田中伊佐資がオーディオマニア宅を訪問し、「音」に賭けたマニアの生き様をお届けします。(録音にはハンディ・レコーダーZOOM H5を使用)今回お邪魔したのは、ハイレゾをアナログ化する永見浩之さん。神田川沿いのマンションの一室にある永見さんのリスニング・ルーム。凄いレコードコレクションをお持ちという噂で以前からお邪魔したいと思っていましたが行ってみたらなんと、緑と水に囲まれた静かな一室でハイレゾをオープンリールに録音して楽しむ粋な姿に出会いました。

永見さんのリスニングスタイルはどこまでも自然体、つついオーディオまっしぐらになりがちに心に気持良い音とはどういうことなのか改めて考えさせてくれる機会になりました。[田中伊佐資]

<試聴環境>

ガラード 301/Shure44G/McIntosh C29/ONKYO M-509/SONY TC-R6/DIATONE DS-3000

<田中伊佐資プロフィール>

音楽雑誌の編集者を経てフリーライターに。現在「ステレオ」「オーディオアクセサリ」「analog」「ジャズ批評」などに連載を執筆中。近著は「ジャズと喫茶とオーディオ」(音楽之友社)。ほか『音の見える部屋 オーディオと在る人』(同)、『オーディオそしてレコード ずるずるベツリ、その物欲記』(同)、『僕が選んだ「いい音ジャズ」201枚』(DU BOOKS)、『オーディオ風土記』(同)、監修作に『新宿ピットインの50年』(河出書房新社)などがある。

●**MB** ほとんどの番組はスタジオで収録しているが、この番組は外に出て行きオーディオファンの方とお会いして音を聴かせていただく取材スタイル。オーディオファンの方の「このシステムでこのレコードを聴きたい」というこだわりをご紹介しようということで、オーディオライター田中伊佐資氏と一緒にステレオマイクを持ってあちこち取材している。

●**委員** 相当なマニア。聴いてみるとなかなか面白い。

●**MB** スタジオと違ってクリアな音ではないので、実際の音が思い通りに再現されて届いているのか心配ではある。あとは、色々な街の音や移動音も入れている。マイクを持って移動すると全部音が動いているような変化が付けられる。

●**委員** この番組を聞き、「もしこれがテレビだったら相当おもしろい」と思った。ということは、「音で見させる」ということがあればおもしろいのかな。ここへ来るときに車で聴いたのだが、それが一番楽しかった。耳でしか聴こえないけれども「可視化」っていうのがあると相当おもしろいと思う。

●**委員** 踏切の音から始まり、緑がたくさんある中を歩いて…などそういう情景を思い浮かべながら聴いていた。

●**委員** ラジオは「ながら」で聴けるから良い。テレビだとくぎ付けになってしまう。

●**委員** テレビショッピングよりラジオショッピングの方が購買率は高く、返品率が少ない。同じ尺で説明する際に、テレビの人が説明するより、ラジオの人が説明する方が売れる。指輪など見ないとわからないような商品でも、ラジオショッピングだとパーソナリティに対しての信頼感が強いので売れる。

●**MB** そういう意味では田中伊佐資氏はオーディオファンにすごく信頼されている。

●**委員** 疑問だったのは、(田中氏の他に)もうひとり喋ってらっしゃる方は誰なのか？ご紹介があってもよかったかも。

●**MB** もう一人はディレクターです。名乗るよう、今後検討します。

●**委員** せっかくなのでオーディオの話をしていたので、そのオーディオで色々な音楽(レコード)を聴いてみたいと思ったのだが、解説の時間の方が長かった。自分はクラシックカーが好きで、乗っている時間より部品を語っている時間の方が長くなってしまっているので、その気持ちはわかる。オーディオにも興味があるので、どんな音なのかすごく聴いてみたい。

●**委員** マニアックな番組がいい。リスナーが多く取れる番組じゃなくて、ミュージックバードしか作れないような専

門性の高い番組っていうのは素敵。それだけじゃ困るだろうけれど。

●委員 マニアックって悪いことじゃないと思う。ただ、先程言われたように説明が長いなど、テンポ感をもう少し工夫するといいかんと思う。

●MB ありがとうございます。

◇その他の施策

加入料+ 24bit 放送対応チューナー & アンテナのレンタル料+ 設置工事の初期費用が 0 円!

初期費用が無料、しかも面倒なチューナー & アンテナの取付工事まで全ておまかせのレンタルプラン【コミコミLight】に、新たな仲間が登場。【コミコミ Five】【コミコミ 100】なら、ハイエンドモデルのチューナーも選択可能に。毎月の聴取料だけでミュージックバード 24bit 放送の高音質を楽しむことができます。

●MB 「コミコミ Light」でレンタルしている CDT-3AFD（聴取料：2000 円/月）に加えて、MDT-5CSXi（聴取料：5000 円/月）や C-T100CSXi（聴取料：8000 円/月）などのハイエンドモデルのチューナーも、9 月よりレンタル可能になった。

さらに最上位機種を、今年末から来年春にかけてリリース予定。